

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年5月12日
【四半期会計期間】	第26期第1四半期（自 2020年1月1日 至 2020年3月31日）
【会社名】	株式会社アイフィスジャパン
【英訳名】	IFIS JAPAN LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 大沢 和春
【本店の所在の場所】	東京都千代田区西神田三丁目1番6号
【電話番号】	03-6825-1250
【事務連絡者氏名】	取締役 管理担当 大澤 弘毅
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区西神田三丁目1番6号
【電話番号】	03-6825-1250
【事務連絡者氏名】	取締役 管理担当 大澤 弘毅
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第25期 第1四半期連結 累計期間	第26期 第1四半期連結 累計期間	第25期
会計期間	自 2019年1月1日 至 2019年3月31日	自 2020年1月1日 至 2020年3月31日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高 (千円)	1,493,979	1,665,421	5,564,131
経常利益 (千円)	264,293	237,448	864,253
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	176,307	155,355	570,086
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	177,418	153,822	568,341
純資産額 (千円)	3,684,899	4,055,724	4,075,776
総資産額 (千円)	4,558,896	4,914,235	4,904,580
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	18.25	16.08	59.02
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	80.8	82.5	83.1

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善が続き緩やかな回復基調から一転し、世界規模での新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の停滞等により、先行き懸念が急速に拡大していく状況となっております。当社事業と関連性が高い証券市場や投資信託市場においても、新型コロナウイルス感染症の影響を受け株価の急落および投資信託の純資産総額が大幅に減少する状況となりました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、投資情報事業、ドキュメントソリューション事業、ITソリューション事業を中心に業績をのばしております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,665百万円（前年同期比171百万円増、11.5%増）、営業利益は236百万円（前年同期比26百万円減、10.0%減）となりました。また、経常利益は、237百万円（前年同期比26百万円減、10.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

#### <投資情報事業>

ネット証券会社に提供している個人投資家向けコンテンツの好調が継続するとともに、連結子会社である株式会社キャピタル・アイが提供する資本市場関係者向けリアルタイムニュース『キャピタルアイ・ニュース』も堅調に推移しております。一方、サービス品質の強化のため人員体制の増強などを行っており、販売費及び一般管理費も増加しております。

その結果、売上高は381百万円（前年同期比31百万円増、9.1%増）、営業利益は151百万円（前年同期比7百万円減、5.0%減）となりました。

#### <ドキュメントソリューション事業>

生命保険関連の印刷・物流サービスを中心に売上を大きく伸ばすとともに、企業年金関連のソリューションサービスも堅調に業績に寄与しております。その結果、売上高は683百万円（前年同期比163百万円増、31.5%増）、営業利益は85百万円（前年同期比9百万円増、12.8%増）となりました。

#### <ファンドディスクロージャー事業>

投資信託市場の純資産総額の減少、公募投資信託の本数及び新規設定本数の減少が続いており、これらの影響により当社における投資信託関連の印刷受注量は前年同期比で減少しております。また新ソリューション展開のための費用の増加もあり、前年同期比で減収減益となっております。

その結果、売上高は361百万円（前年同期比70百万円減、16.4%減）、営業利益は66百万円（前年同期比45百万円減、40.9%減）となりました。

#### <ITソリューション事業>

主力事業である事業会社向けの受託開発を行っているビジネスソリューションの受注は、堅調に推移しており、販売費及び一般管理費の削減により前年同期比で増収増益となっております。

その結果、売上高は238百万円（前年同期比46百万円増、24.4%増）、営業利益は25百万円（前年同期比24百万円増、1610.4%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ9百万円増加し、4,914百万円となりました。

流動資産合計は20百万円増加し、4,216百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が52百万円、受取手形及び売掛金が23百万円増加した一方で、仕掛品が46百万円減少したことによるものであります。

固定資産合計は11百万円減少し、697百万円となりました。主な要因は、のれんが償却により14百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ29百万円増加し、858百万円となりました。

流動負債は29百万円増加し、732百万円となりました。主な要因は、買掛金が56百万円増加した一方で、未払法人税等が37百万円減少したことによるものであります。固定負債は前連結会計年度末とほぼ同額の125百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ20百万円減少し、4,055百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益155百万円の計上による増加と、剰余金の配当173百万円による減少であります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間において、該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	33,920,000
計	33,920,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年3月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年5月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,242,000	10,242,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数100株
計	10,242,000	10,242,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (千円)	資本金 残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年1月1日～ 2020年3月31日	-	10,242,000	-	382,510	-	438,310

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年12月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 582,300	-	単元株式数100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,658,500	96,585	同上
単元未満株式	普通株式 1,200	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	10,242,000	-	-
総株主の議決権	-	96,585	-

(注) 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式が5株含まれております。

【自己株式等】

2020年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社アイフィスジャパン	東京都千代田区西神田 三丁目1番6号	582,300	-	582,300	5.69
計	-	582,300	-	582,300	5.69

(注) 上記自己保有株式には、単元未満株式5株は含まれておりません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,549,540	3,601,645
受取手形及び売掛金	523,956	547,023
仕掛品	65,675	18,978
その他	56,760	49,091
流動資産合計	4,195,932	4,216,738
固定資産		
有形固定資産	64,428	64,601
無形固定資産		
のれん	285,447	270,990
ソフトウェア	109,285	104,012
ソフトウェア仮勘定	4,043	4,860
その他	1,469	1,469
無形固定資産合計	400,246	381,332
投資その他の資産	243,973	251,562
固定資産合計	708,648	697,496
資産合計	4,904,580	4,914,235
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	211,511	267,791
未払法人税等	135,528	98,121
賞与引当金	16,471	59,564
その他	340,192	307,317
流動負債合計	703,703	732,795
固定負債		
退職給付に係る負債	15,117	15,732
その他	109,982	109,982
固定負債合計	125,100	125,714
負債合計	828,804	858,510
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	382,510	382,510
資本剰余金	438,310	438,310
利益剰余金	3,327,176	3,308,657
自己株式	77,975	77,975
株主資本合計	4,070,020	4,051,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	368	576
為替換算調整勘定	6,123	4,799
その他の包括利益累計額合計	5,755	4,223
純資産合計	4,075,776	4,055,724
負債純資産合計	4,904,580	4,914,235

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	1,493,979	1,665,421
売上原価	893,825	1,049,705
売上総利益	600,153	615,715
販売費及び一般管理費	337,015	378,867
営業利益	263,138	236,848
営業外収益		
受取利息	396	363
受取配当金	162	96
持分法による投資利益	444	367
助成金収入	-	600
その他	285	143
営業外収益合計	1,288	1,570
営業外費用		
為替差損	128	970
その他	5	0
営業外費用合計	133	970
経常利益	264,293	237,448
税金等調整前四半期純利益	264,293	237,448
法人税、住民税及び事業税	77,899	91,488
法人税等調整額	10,086	9,394
法人税等合計	87,985	82,093
四半期純利益	176,307	155,355
親会社株主に帰属する四半期純利益	176,307	155,355

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	176,307	155,355
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25	208
持分法適用会社に対する持分相当額	1,086	1,324
その他の包括利益合計	1,111	1,532
四半期包括利益	177,418	153,822
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	177,418	153,822

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
減価償却費	11,526千円	14,303千円
のれんの償却額	14,603	14,457

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月20日 定時株主総会	普通株式	77,278	8.0	2018年12月31日	2019年3月22日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月19日 定時株主総会	普通株式	173,874	18.0	2019年12月31日	2020年3月23日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)3	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション 事業	ファンド ディスク ロージャー 事業	ITソ リユース ン 事業				
売上高								
外部顧客への売上高	349,543	519,903	432,851	191,681	-	1,493,979	-	1,493,979
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	3,033	-	14,609	-	17,642	17,642	-
計	349,543	522,937	432,851	206,290	-	1,511,622	17,642	1,493,979
セグメント利益又は 損失( )	159,061	76,215	111,858	1,491	-	348,625	85,486	263,138

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額 85,486千円には、セグメント間取引消去 2,965千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 82,520千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

より事業の実態に即した採算管理を行うため、第1四半期連結会計期間より、「ドキュメントソリューション事業」に含めていた事業法人向けIFIS IR Manager、IFIS Research Manager、IFIS Consensus Managerを「投資情報事業」に、「ファンドディスクロージャー事業」に含めていた確定拠出年金関連サービスと「ITソリューション事業」に含めていたタブレットソリューションを「ドキュメントソリューション事業」に移管しました。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)3	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション 事業	ファンド ディスク ロージャー 事業	ITソ リユース ン 事業				
売上高								
外部顧客への売上高	381,206	683,858	361,909	238,447	-	1,665,421	-	1,665,421
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,600	1,677	-	10,555	-	15,833	15,833	-
計	384,806	685,535	361,909	249,003	-	1,681,254	15,833	1,665,421
セグメント利益又は 損失( )	151,139	85,992	66,130	25,502	-	328,764	91,916	236,848

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額 91,916千円には、セグメント間取引消去 68千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 91,847千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額	18円25銭	16円08銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	176,307	155,355
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(千円)	176,307	155,355
普通株式の期中平均株式数(株)	9,659,761	9,659,695

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年5月11日

株式会社アイフィスジャパン  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 大 竹 貴 也 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 古 川 真 之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アイフィスジャパンの2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アイフィスジャパン及び連結子会社の2020年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。